

# 人が減る

## 第3部 生産性向上

⑤



山陽染工がクラウドソーシングで採用した新しい柄のサンプル。業務の担い手をその都度募れる利点がある

### クリック

クラウドソーシング ネット上で不特定多数の人に募集をかけ、仕事を仲介する仕組み。crowd(群衆)とsourcing(業務委託)の造語。仕事の発注や受注、連絡は基本的にネット上で進める。発注者は通常より安く、繁忙期など必要な時だけ業務を委託できる。受注者は都合の良い時間に作業できる。退職したシニア、育児中の女性が経験を生かす場としても注目を集めている。

メリットがあるという。矢野経済研究所(同)は2016年の調査で、クラウドソーシングの20年度の市場規模を2950億円と予測した。15年度実績の4.5倍だ。人材の採用が難しくなる中で拡大が見込まれる。

服などの生地染色を手掛ける山陽染工(福山市)。創業90年を超す企業で、新たな柄のサンプルが生まれた。花柄やペイズリー調のデザイン。染料を薬剤で抜いて柄を生む「段落ち抜染」という独自技術を使い、色の濃淡を生かしたグラデーションが映える。柄の考案者は社内にはいない。担当者は「会ったこともないし、どこの誰かも詳しく分からない」と明かす。

同社が初の試みとして使ったのは「クラウドソーシング」という仕組みだ。インターネット上で募集をかけ、仕事を請け負ってもら

# ネット公募で外部委託

## 地方企業が積極活用

う。ネットでのやりとりだけで済む。

### 費用を大幅抑制

昨年7月、デザインを発注。2週間で72件の応募があり9件を採用した。費用は合計で十数万円。戸板一平取締役経営管理本部長は「今までの3分の1程度で

済んだ」と話す。同社は商社を通じ、指定された色や柄に染める委託加工を主に手掛けてきた。社内にデザイナーはおらず、これまで

国内の繊維産業は人件費の安い海外へと仕事が流れ、厳しさが続く。生き残りの利点を実感する。

### 働き手にも利点

このサービスを提供するのはクラウドワークス(東京)。発注、受注側を合わせて利用者は150万人以上に上る。デザイナーのほかIT、記事執筆などの仕事を企業側が募集できる。省庁や自治体も使っている。

同社の担当者は「地方の企業の活用が増えている」と指摘する。会社の拠点の近くに適任者がいなくても、仕事を請け負ってもらえるためだ。育児などで出勤しづらい人や副業を始める会社員など、働き手にも

人手不足は事業に逆風となる。しかしそれを機にしたITの活用や設備の工夫で、生産性の向上という追い風を生み出せるかもしれない。そんな取り組みが地域の企業に広がっていく。

山陽染工も、人材確保の厳しさを実感している。染色を手掛けた生地は海外の有名ブランドなどに採用されているが、戸板取締役は「ずっと裏方だった」。会社名が表に出ないため、消費者になじみが薄い。独自の柄が採用されれば会社の知名度が上がり、採用活動にもプラスになると期待する。

人手不足は事業に逆風となる。しかしそれを機にしたITの活用や設備の工夫で、生産性の向上という追い風を生み出せるかもしれない。そんな取り組みが地域の企業に広がっていく。

(山本和明)

第3部おわり

室と創業・事業承継サポ―課題解決と地蔵の寺流的な取り組んでいるとして表一発夜の処理や機械の洗浄な